

科目	総合教養Ⅰ-河内学-	単位数	2
担当教員	相谷 登、治部 哲也		
履修対象	社会福祉学科1年春学期・臨床心理学科1年春学期・健康科学科1年春学期・福祉栄養学科1年春学期・リハビリテーション学科共通1年春学期		
目的	「河内」を共通の題材として取り上げ、本学を中心とした河内地域固有の ①「風土と歴史」、②「産業と特産品」、③「地域活動」の3つの柱を軸としてお互いが広がりをもって融合した生きた「河内学」を学び、幅広いものの見方や考え方を身につけることを目的とします。		
達成目標	「関心・意欲・態度」 (1)学内外の体験講義を通じて河内の地域性・歴史・産業に触れる。 (2)“立教館”を見学して、私学教育の源流に触れる。 「思考・判断」 (1)地域の魅力に気づく。 (2)地域社会との関わりについて考えるようになる。 (3)幅広いものの見方や考え方ができる。 「技能・表現」 (1)河内ブランドについて提案ができる。 「知識・理解」 (1)河内の地域性・歴史・産業について説明できる。		
授業計画			
1	オリエンテーション 河内学を学ぶために／治部哲也(福祉栄養学科)・相谷 登(臨床心理学科)		
2	河内の風土と地域性(河内弁と河内文化)／相谷 登(臨床心理学科)		
3	河内の歴史(古代)／森 明彦(社会福祉学科)		
4	河内の歴史(近世:文化史(立教館))／森 明彦・山中浩之(特別講師)		
5	河内の歴史(柏原の古墳文化)事前学習／治部哲也・相谷 登		
6	＜体験学習【校外】＞河内の歴史(柏原の歴史)／柏原市教育委員会		
7	＜体験学習【校外】＞河内の歴史(柏原の古墳文化)／柏原市教育委員会・森 明彦、他		
8	河内の産業と特産品(河内木綿の隆盛と衰退)／治部哲也(福祉栄養学科)		
9	河内の産業と特産品(現代に甦る河内木綿)／山本真紀(リハビリテーション学科)		
10	河内の産業と特産品(葡萄栽培)／的場輝佳(客員教授)		
11	柏原市における本学の存在意義／江端源治(理事長)		
12	河内地域の魅力的な価値の創造①(NPOのまちづくり活動)／谷向みつえ(臨床心理学科)		
13	河内地域の魅力的な価値の創造②／谷向みつえ		
14	河内地域の魅力的な価値の創造③(河内ブランド)／吉田 初恵(社会福祉学科)		
15	河内学を学んで(まとめ)／中島 裕(社会福祉学科)		
授業形態	3つのテーマを通じて本学教員とゲスト・スピーカーによるリレー講義の形式をとります。また、学外における参加型体験学習として「河内の歴史(柏原の歴史と古墳文化)」を春学期期間中のいずれかの土曜日に予定しています(授業計画では6&7に相当。半日予定で延べ約3時間を予定しています)。なお、天候等諸事情で体験学習が実施できない場合は、それに替わる授業を実施します。		
教科書			
教科書名	著者名	出版社	金額
授業ではプリントを適宜配付し、必要な参考文献を指示します。			
参考書	かしわらの史跡(上)/重田堅一著/柏原市総務部自治推進課編/柏原市総務部自治推進課広報公聴係 かしわらの史跡(下)/重田堅一著/柏原市総務部自治推進課編/柏原市総務部自治推進課広報公聴係 その他授業中に適宜紹介します。		
評価方法	全てのレポートの評価(60%)と授業への参加度(40%)で評価します。レポートは、①「風土と歴史」、②「産業と特産品」、③「河内地域の価値と創造」のテーマごとに一部ずつ提出してもらいます。		
留意点	遅刻者は、正当な理由がない限り出席として扱いません。授業を真剣に聞く人の邪魔になるので、私語は慎むこと。学外学習時でも携帯電話の電源は切っておくこと。また、特別な事情のない限り途中退出は認めません。授業のス		

	スケジュールや受講方法は、第1回目以降適宜説明します。		
準備学習	履修生は、受身の姿勢ではなく、主体的・積極的に取り組むことが求められます。特別講師として学外の先生方にお話を伺ったり、教室内外で地域の方々と出会うことが多々あります。積極的に交流を持って、どんどん質問や意見を述べてください。また、レポート作成には、大学内外の図書館などを活用してできるだけ多くの資料を集めてください。		
備考	履修者が定員(100人)を超えた場合は、原則抽選等何らかの方法で履修者を決定します。	No.	GE212001・RC112001